



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）9月15日号 No. 1572

目次

■ 2012年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入	1
—輸出入の頭打ちと統計方式の変更—	
■ トピックス	8
マツダソーラーズ設立記念式典が開催／8	
コマツ、ロシア極東の人材育成に協力／8	
三菱東京UFJと沿海地方政府が業務提携／8	
武田薬品のロシア医薬品生産工場が完成／8	
明治HD系、ベトナム・ロシアで製薬販売提携／8	
玄葉外相、枝野・経産相がロシア第一副首相と会談／9	
ロシア極東の開発には年間3兆ルーブル以上が必要／9	

2012年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入 —輸出入の頭打ちと統計方式の変更—

はじめに

2012年1～6月のロシアの貿易と外国投資受入の統計データが出揃ったので、今回の速報では恒例によりこれらのデータを図表にまとめてお届けすることにする。

ロシア中央銀行の国際収支統計によると、2012年1～6月のロシアの商品輸出総額は2,634億ドル（前年同期比6.7%増）、輸入総額は1,542億ドル（4.1%増）で、収支は1,092億ドルの黒字であった。国際収支ベースの過去数年の輸出入額を、月別に跡付けたのが図表1である（すでに7月の数字まで出ている）。ロシアの貿易は、リーマン・ショックによる落ち込みから回復し、目覚ましい拡大を続けてきたが、2012年に入ってから輸出入ともに頭打ちの傾向が見られる。4月、6月、7月の輸出、4月、5月、6月の輸入は、前年の水準を下回っている。

一方、ロシア連邦関税局の通関統計によれば、2012年1～6月のロシアの商品輸出総額は2,614億ドル（前年同期比7.3%増）、輸入総額は1,455億ドル（3.6%増）で、収支は1,159億ドルの黒字であった。

その際に、これまで当会の月報や本速報で再三指摘してきたとおり、ロシアの通関統計